



## 福岡教育大学・図書課連携事業



鈴木章先生・成清鉄男先生の司書教諭養成講座で、11月21日・22日に図書課職員が、調べ学習についての説明と実習、世界遺産沖ノ島についての紙芝居とストーリーテリング(1日目)、学校司書の役割についての説明(2日目)を行いました。

授業名 学習指導と学校図書館について

受講生 2年生から4年生の受講希望者 約320名

受講生の感想(一部抜粋)

- ・実際に調べ学習をしてみて、自分の疑問を楽しみながら解決することができた。
- ・今日のような取組を学校で実践すると、子どもたちに、主体的に深い学びをさせることができると思った。
- ・図書館で調べることも読解力や書く能力につながるの、とても大切な力だと思います。
- ・今日は、実際に調べ学習をやってみて、新しい発見を自分の力ですることの達成感、面白さを味わうことができました。
- ・自分が気になることを疑問をもって調べることで、学んだことが印象に残るのでとても良い学習だと思いました。
- ・「なぜ」「どうして」から輪を広げることができるということに、改めて気づき感じることができました。
- ・ストーリーテリングによる話や紙しばいはとても臨場感があり印象に残りました。
- ・本や民話を通して、宗像に関して知ることも良いなと思いました。
- ・学校司書の仕事と、学校の授業をどうつなげるのか、実際の写真を見ながら説明を受けることができてためになった。
- ・学校司書の存在の大切さを改めて感じました。



調べ学習にチャレンジ!



紙芝居「オガチのすむ島」



大学生の作品